

テーマ 環境 「地域における環境保全活動」

開催日時 平成20年8月1日（金）午後7時～9時15分

開催場所 「上宮守地区多目的集会施設」

作成者 生活環境部環境課 課長補佐 千葉 勝義

市民出席者（敬称略）

	氏 名	性別	町 名	役 職 等
1	阿 部 啓 悦	男	宮守町	宮守川上流友の会 会長
2	阿 部 義 知	男	宮守町	宮守川上流友の会 事務局長
3	佐々木 康 弘	男	宮守町	宮守川上流友の会 前会長
4	菊 池 清 子	女	宮守町	宮守川上流地域環境部会 会長
5	阿 部 ハシメ	女	宮守町	宮守川上流地域環境部会 キャップ
6	阿 部 タ イ	女	宮守町	宮守川上流地域環境部会 会計
7	阿 部 サ ダ	女	宮守町	宮守川上流地域環境部会 庶務
8	浅 沼 キョウ	女	宮守町	宮守川上流地域環境部会 キャップ
9	阿 部 孝 子	女	宮守町	宮守川上流地域環境部会 キャップ
10	桶 田 陽 子	女	宮守町	農事組合法人宮守川上流地域生産組合事務局

	意見・提言の内容	市長のコメント	担当課の意見・回答等
1	地域で年2回行っている河川の草刈りの際の保険、燃料等費用について、予算の確保に苦慮している。合併前は衛生連の負担金がなかったが合併したことで発生した。また、合併後は河川清掃の補助金も減った。河川清掃の補助金を早急に交付していただきたい。	団体の活動について、仕組みは出来ているので、農村景観をコンセプトに地域の活動を生かしたモデル地域としての取り組みによる事業導入、あるいは上宮守の農村景観を遠野遺産に認定し、環境の保全に取り組んでいくのも1つのやり方である。 合併後のメリット、デメリット、負担金の増による課題、問題提起として受け止める。	環境保全団体活動の自立に対する支援策を検討していく。 旧市村の制度の違いはあるが、衛生連の負担金（会費）は有効に活用していく。 補助金に関しては、遠野市環境整備協力会と連携を図りながら進める。
2	地域の交流で絆が深まって最高にいいことだと思っている。顔を合わせる機会が多く、誰を見ても兄弟、親子というような感じである。	この地域の景観はとても美しく、団体の活動についても、素晴らしいと感じている。「地域の絆が最高だ」という言葉を伺い、それは素晴らしいこと。	地域活動を通して、住民相互のつながりを大事にしていく。

3	<p>上宮守は、寺沢高原まつり、かかし祭り等を行いながら、ほたるの里としてやっていければと思う。</p> <p>また、ほたるの里としての取り組みをこの地域だけでなく、範囲を広げていきたいと思う。</p>	<p>団体の活動について、仕組みは出来ているので、農村景観をコンセプトに地域の活動を生かしたモデル地域としての取り組みによる事業導入、あるいは上宮守の農村景観を遠野遺産に認定し、環境の保全に取り組んでいくのも1つのやり方である。市内では他に小友町の山谷などで取り組まれている。遠野テレビ等を活用したPR活動を。</p>	<p>希少野生動植物の保護についての関心が高まっており、この保護活動が広がるような手だてを講じていく。</p> <p>この活動を遠野テレビ等を活用してPRを行い、広げていく。</p>
4	<p>Iターンを決める際、この地域がまとまっていることに良さを感じた。中山間直接支払制度等の事務の窓口をしているが、事務作業が非常に多く大変で、各地でいろんなグループがあっという間活動しているが、事務的な作業を地域でなかなか出来ないこともあるので助成金などせつかくあるものが活用できていないのではと感じている。</p>	<p>地域の活動に支えられているが補助金申請のための事務等の手続きが複雑であるため、この地域をモデルに環境への取り組みについて各地域へ広げていけないが。</p>	<p>自然景観、農村景観等の1つのモデル地区として、各地域に紹介し、影響させて活性化を図り、それが核となるよう、各地域にあったやり方の事業を組み立てていく。</p> <p>事務作業の効率化について、国、県に要望していく。</p>
5	<p>宮守町にはまだまだ遠野遺産となるところがある。行政にもテコ入れのほうお願いしたい。</p>	<p>上宮守の農村景観を遠野遺産に認定し、環境の保全に取り組んでいくのも1つのやり方である。</p>	<p>遠野遺産になりうる場所等について、今後、調査を行っていく。</p> <p>遠野遺産は、地域づくりの一手法でもあることから、地域のお宝を再発見することを進めていただきたい。</p>